

内閣府「令和6年度 官民連携による被災者支援体制構築」モデル事業

災害時における多様な主体間の連携を 考えるフォーラム

—自分たちの強み・普段の取り組みを活かして災害時にできること—

毎年、全国各地で災害が頻発化・激甚化し、災害という問題が他人事ではなくなってきています。南海トラフ地震のような大規模災害が発生した場合、県外の主要な災害支援団体は都市部へ支援に入る可能性が高く、奈良県には県外からの支援が入ってこない可能性が想定されます。そこで、県内の各機関・団体・NPO・企業等が連携しながら、被災者支援・被災地支援に取り組む必要があります。

本フォーラムを通じて、「災害」を身近に捉えるきっかけとなり、各種団体が平時から顔の見える関係づくりを行い、災害に対して県内で対応できる体制づくりを目的に開催します。

参加対象

- 災害時の支援活動に関心のある方
- NPO・協同組合等に所属する方
- 企業・労働組合等に所属する方
- 士業、医療・福祉専門職の方
- ボランティア活動者・地域福祉活動者
- 行政・社会福祉協議会の方

\申込はこちら/



申込フォームQRコード

右上のQRコードか、以下のURLからアクセスいただきお申込ください。
<https://c0bb449b.form.kintoneapp.com/public/1214kanminnrenkei>

令和6年 12月14日【土】

基調講演



明城 徹也氏

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
事務局長

福井県出身。米国の大学を卒業後、建設会社に勤務。その後、NGO業界に勤務。東日本大震災では発災直後より現地入りし、被災者支援・復興支援に従事。その経験から全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOD）の立ち上げに関わり、事務局長に就任。

時間 13:00～17:00（12時30分 受付開始）

主催 奈良防災プラットフォーム連絡会

参加費 無料

定員 先着 300名（要事前申込）

会場 東大寺総合文化センター 金鐘ホール
〒630-8208 奈良県奈良市水門町100番地

申込 WEBフォームから申し込みください。
または、別紙の申込欄に必要事項をご記入の上、FAX又は郵送にてお申し込みください。
申し込み締め切りは**12月6日（金）**まで

【問い合わせ先】奈良県社会福祉協議会 総合ボランティアセンター

〒634-0061 奈良県橿原市大久保町320-11 TEL:0744-29-0155
奈良県社会福祉総合センター内 FAX:0744-26-0234

プログラム【予定】

13:00 挨拶・オリエンテーション

13:15 <基調講演> 「大規模災害にどう備えるかのか

～普段・災害時のみんなで支え合う体制づくりとは～

全国の災害支援の事例を通じて、災害時における多様な主体間の連携・協働の必要性についてお話しいただき、災害を身近に捉え、自分たちにできることを考えます。

講師：特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
事務局長 明城 徹也 氏

14:00 <トークセッション> 「奈良県内の多様な主体間の連携・協働の現状と課題について」

奈良県にて、実際の災害時にどのような取り組みが想定されているのか、奈良県内の災害支援体制の実情について共有します。さらに、被災地において被災者ニーズに効果的に応えるための主体間の連携・協働のあり方や、これら共助の取り組みを最大限に活かすための県域・市町村域での受援力について考え、今後の奈良県の取り組みについて議論します。

登壇者：奈良県防災統括室/※調整中

奈良県生活協同組合連合会/事務局 三谷 豊 氏

奈良県社会福祉協議会/次長 浅井 智子 氏

コーディネーター：特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
事務局長 明城 徹也 氏

コメンテーター：特定非営利活動法人 災害救援レスキューアシスト/代表 中島 武志 氏

15:20 休憩・各分科会へ移動

15:30 <テーマ別分科会> ※内容は以下の一分科会内容をご覧ください。

17:00 閉会

- 分科会内容 -

【第1分科会】顔の見える地域づくりの底力

～災害にも活きる地域のつながりを考える【定員220名】

01

災害時には外部の多様な応援も得て復興に向けて進みますが、真ん中にあるのは地域住民であり、そこに息づく互助の関係性です。復興に向けて取り組む被災地と、日々の地域づくりに取り組む県内地域、2つの報告を受け、災害時にも活きる地域のつながりを考える分科会です。

対象：災害時の支援活動に関心のある方、NPO、企業、ボランティア活動者、地域福祉活動者、行政、社協など

【第2分科会】企業による災害支援活動への参加

～自分たちの良さ・わが社らしさを活かす～【定員30名】

02

災害時において企業による災害支援活動に注目が高まっています。この分科会では、多様な企業のリソースを活かしながら、災害による深刻な社会問題に対して、自分たちの良さ、わが社らしさを活かすにはどうするかを考える分科会です。

対象：企業、NPO、行政、社協 など

【第3分科会】専門職による分野横断の被災者支援ネットワークづくり【定員50名】

03

災害対応の中で、子ども、高齢者、障がい者、生活困窮者などの社会的に支援を必要とする人々を中心とした生活再建が課題となっています。そこで、今後起こりうる災害に備えて、専門職や各機関が市町村ごとに、どのような顔の見える関係づくりを行うのか考えるきっかけとする分科会です。

対象：士業、医療・福祉専門職、NPO、行政、社協 など

分科会等の講師、登壇者、プログラムの詳細については、
特設ホームページをご覧ください。

以下のURLか、右記QRコードより表示いただけます。

<https://nara-shakyo.jp/pages/428/>



特設ページQRコード

— 「災害時における多様な主体間の連携を考えるフォーラム」参加申込書 —

WEBフォームからのお申込みが難しい方は下記の申込欄に必要事項をご記入の上、
FAX（0744-26-0234）または郵送にてお申込みください。

申込者	
ふりがな	分科会 ※いずれかに○をご記入ください
氏名	第1分科会・第2分科会・第3分科会 ※ご希望に添えない可能性があります。
所属	電話番号
メールアドレス	@
住所 〒	

参加対象

- 災害時の支援活動に関心のある方
- NPO・協同組合等に所属する方
- 企業・労働組合等に所属する方
- 士業、医療・福祉専門職の方
- ボランティア活動者・地域福祉活動者
- 行政・社会福祉協議会の方

＼WEB申込推奨!／



申込フォームQRコード

WEB申込URL：<https://c0bb449b.form.kintoneapp.com/public/1214kanminnrennkei>

【会場へのアクセス】

【電車とバスの場合】

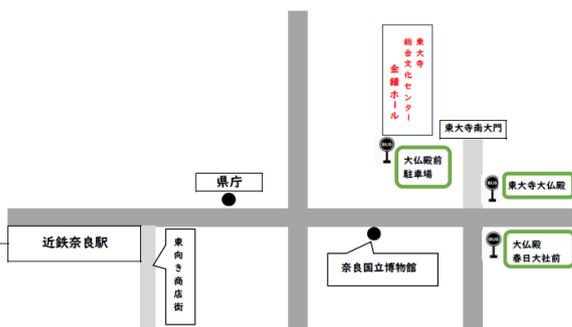
- ① JR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス「東大寺大仏殿 or 大仏殿春日大社前」下車、北へ徒歩5分
- ② 近鉄奈良駅から、ぐるっとバス(大宮通ルート・奈良公園ルート)「大仏殿前駐車場」下車すぐ

【電車と徒歩の場合】

近鉄奈良駅から、登大路町を東へ徒歩約20分

【お車の場合】

※専用駐車場がないため、近隣の駐車場をご利用ください



※ご記入いただいた個人情報は、上記の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはありません。
※電話でのお申し込みは受け付けておりません

【問い合わせ先】奈良防災プラットフォーム連絡会

【事務局】奈良県社会福祉協議会 総合ボランティアセンター

〒634-0061 奈良県橿原市大久保町320-11 TEL:0744-29-0155
 奈良県社会福祉総合センター内 FAX:0744-26-0234
 mail:nara-pf2006@nara-shakyo.jp